



ユニセフハウス訪問と劇の発表

報告者 東京都モンテッソーリ白金子どもの家 園長 南郷 治代先生

ポイント

モンテッソーリ白金子どもの家卒業行事として、年長組の子ども達がユニセフ募金に参加させていただいていつの間にか30余年が経とうとしております。今年も年長児13名が様々な方法で貯めた募金を協会に届け、協会の方からユニセフ活動についての説明を伺うことが出来ました。園児達は地球上には様々な環境の中で暮らしている子ども達や、苦境の中で家族の為に一生懸命働いている子ども達が沢山住んでいる事を知る機会を得、感銘を受けて戻りました。そして感じたことを身近な人たちに伝える為に協会で見せていただいたビデオ、「ミーナ にわとりなんわ」を劇にして発表することを思いつきました。

【募金は二通りの方法で行いました】

- ① 何か買うものを我慢して、貯めたお金で募金する。
- ② お店を開き手作りの品物を作り、それを募金する。

出店の準備



品物作り

お店に出す作品を毎日時間をかけて作りました。クッキー、アクセサリー、おもちゃなどかわいい品物ができました。



お母さんたちの協力

子どもたちの作品の他、お母様たちも協力し、素晴らしい手作りの作品をたくさん作っていただきました。

お店屋さん当日



お母様たちもお客さんになって、売り上げに協力してくださいました。

ユニセフ協会を訪問して



ユニセフ協会訪問では、ビデオや展示場での説明を興味深く聞くことが出来ました。特に水を運んで生活している子ども達に強く心を打たれた様でした。

劇「ミーナ にわとりなんわ」



鶏を数えるミーナの様子



水汲みをする子ども達



ユニセフ活動について

この訪問を通して子ども達は物質的に豊かな環境に育っているが故に、素通りしがちな精神的な豊かさや力強さの大切さに気付かされた様です。この学びを通して、子ども達がユニセフで紹介された子ども達に関して「何故？」という気持ちを育てながら平和な世界づくりに向かっていくことを願っています。